

教科	保健体育	科目	体育1	開講学期	通年	単位数	2	試験	後期
タイプ	I	レポート数	2	スクーリング必要時数		10	スクーリング実施時数		18
教科書(発行者)		現代高等保健体育(大修館)							
補助教材(発行者)		現代高等保健体育 学習書(NHK出版)							

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
	1 知識及び技能			2 思考、判断、表現等			3 学びに向かう力、人間性等		
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするための、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。			生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。			運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能			2 思考・判断・表現			3 主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。			自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。			運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。		

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	学習内容	試験
前期	第1回	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義	第1回～第9回	球技種目別選択 バドミントン 卓球 パレーボール バスケットボール	後期
後期	第2回	スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境	第10回～第18回	球技種目別選択 体づくり運動 ラジオ体操 ストレッチ バランス保持 ウォーキング	